

平成 29 年

社会人大学院(夜間開講) 講義受講コース

社会人のために夜間開講されている大学院講義科目を聴講できる社会人聴講制度を活用したコースです。

時 間：19:00～21:00

場 所：星薬科大学 新星館 2階講義室

認定単位：星薬科大学認定薬剤師認定単位（G11） 1.5単位

受講料：1講義3,000円

申込方法：メール又はFAXで受講日（当日）の13:00までにお申し込みください。

なお、お申し込みには以下の項目を明記してください。

- ①受講希望日と講座の名称②氏名③フリガナ④住所⑤電話番号
- ⑥メールアドレス⑦本学の卒業生のみ卒業年度（④以降は任意）

お申込み・お問合せ

星薬科大学 薬剤師生涯学習支援室

〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41

TEL/FAX：03-5498-5863

e-mail：shougaikyouiku@hoshi.ac.jp

URL: <http://www.hoshi.ac.jp/home/nintei/index.html>

- 受講方法：●受講日当時に管理系事務室の前の券売機にて受講料分の証紙を購入し、
 教学系事務室にて「受講カード」を記入の上、受講してください。
 ●毎時間講義開始前にレポート（受講票）を講義室受付にてお渡しします。
 レポート（受講票）は複写式になっております。講義中に当日の講義内容を
 まとめ、1枚目（原版）は受講ノートとしてお持ち帰りいただき、2枚目
 （複写版）は講義終了時に講義室受付で必ずご提出ください。

注意事項：受講に際し、虚偽の記載または申告などの事実がある時には、
 履修許可を取り消すことがあります。

【前期】

月/日	項目	担当	内容
5/11(木)	神経症候学	波田野 琢	神経疾患は身体所見のとりが重要である。本講義では所見からどのような病態が診断出来るか？解剖学的な病巣はどこか？について述べる。
5/18(木)	パーキンソン病の病態・治療	波田野 琢	神経変性疾患の代表的な疾患であるパーキンソン病の病態及び治療について述べる。
5/19(金)	神経外傷・変性疾患に対する再生戦略①	岡野 ジェイ ムス 洋尚	脊髄損傷などの神経外傷に対する新規治療法の開発を目指した再生医学研究について最新の知見を紹介する。
5/23(火)	循環器系疾患とEBM	林 同文	循環器系疾患とは、心臓を中心とした全身の動脈・静脈系の病気全てを示す。特に動脈硬化の原因となる、糖尿病や高血圧を含めた生活習慣病やメタボリック症候群なども含まれ、最も患者の多い専門領域の1つである。これらの病態だけでなく、治療薬における EBM(Evidence-Based Medicine)の考え方について薬学部学生として必要な知識を概説する。

5/24 (水)	循環器系疾患とEBM	林 同文	循環器系疾患とは、心臓を中心とした全身の動脈・静脈系の病気全てを示す。特に動脈硬化の原因となる、糖尿病や高血圧を含めた生活習慣病やメタボリック症候群なども含まれ、最も患者の多い専門領域の1つである。これらの病態だけでなく、治療薬におけるEBM(Evidence-Based Medicine)の考え方について薬学部学生として必要な知識を概説する。
5/26 (金)	神経外傷・変性疾患に対する再生戦略②	岡野ジェームス 洋尚	動物モデルを用いた神経変性疾患の病態研究および検査技術の開発、新規治療戦略について述べる。
5/30 (火)	感染症疾患の漢方治療	吉村吉博	かぜの漢方治療について、中医漢方医学的手法である弁証論治(病理メカニズム)に基づいて解説する。
5/31 (水)	iPS細胞技術と遺伝子改変霊長類を用いた再生・疾患研究と革新的脳科学	岡野栄之	中枢神経系の再生医学と疾患研究さらには先端的脳科学研究について、iPS細胞技術と遺伝子改変霊長類を用いた成果と今後の展望について判り易く解説し、双方向的な議論をしたいと思います。
6/5 (月)	消化器疾患の病態、治療①	芹澤 宏	消化器領域で代表的な疾患(胃・十二指腸かじょう、炎症性腸疾患や肝炎・肝硬変膵炎など)を取り上げ、その基本的な病態生理とともに薬物療法を中心とした治療につきスライドを用いて述べる。
6/6 (火)	新規抗精神病薬の薬理作用と使い方	天野 託	最近発売された抗うつ薬、と抗躁薬精神病薬についての薬理作用ならびに症例を用いた使いかたを取り上げる。
6/12 (月)	体質改善の漢方治療	吉村吉博	冷え症や低体温症の治療について、中医漢方医学的にアプローチして解説する。さらにケーススタディを取り上げる。
6/15 (木)	前立腺疾患	中村 薫	高齢化社会に伴い、患者数が急増している前立腺疾患(前立腺肥大症・前立腺癌)をとりあげて診断の進め方、薬物療法の実際、癌検診の実状の解説を行う。
6/16 (金)	1.ニューロサイエンスと精神病理学 2.「パーソナリティ障害」と「困った人たち」	天野 託	1.「こころ」は科学できるかを精神病理学的な考え方で講義すると共に抗精神病薬についての症例を取り上げる。 2.薬学の講義では学習しない人格障害について講義する。
6/19 (月)	婦人科疾患の漢方治療	吉村吉博	女性の疾患で多い月経痛、月経不順などをとりあげて、中医漢方医学的に基づいて解説する。さらにケーススタディを取り上げる。
6/23 (金)	消化器疾患の病態、治療②	芹澤 宏	消化器領域で代表的な疾患(胃・十二指腸かじょう、炎症性腸疾患や肝炎・肝硬変膵炎など)を取り上げ、その基本的な病態生理とともに薬物療法を中心とした治療につきスライドを用いて述べる。
6/26 (月)	循環器病学①	赤石 誠	循環器疾患において病態を解析評価することにより適切な薬剤を使用することが可能となる場合が多い。それらの病態の把握方法と薬剤の選択について概説する。
6/27 (火)	癌の診断と治療	中村 薫	癌の診断の進め方および多剤併用化学療法の実際ならび手術を紹介する。とくに抗がん剤が著効する精巣癌についてその効果、副作用をスライドで解説する。
6/29 (木)	医薬品による腎臓、肝臓、消化管、循環器障害①	上原譽志夫	医薬品による腎障害、肝障害、消化管障害および循環器障害などを取り上げ、臨床症例を中心に多角的に最近の考え方を講義する。
7/4 (火)	精神医学①	野村総一郎	薬剤師の知っておくべき精神医学の知識(精神医学総論、各論として統合失調症、神経症、うつ病など)について講義する。
7/5 (水)	医薬品による腎臓、肝臓、消化管、循環器障害②	上原譽志夫	医薬品による腎障害、肝障害、消化管障害および循環器障害などを取り上げ、臨床症例を中心に多角的に最近の考え方を講義する。
7/12 (水)	循環器病学②	赤石 誠	循環器疾患において病態を解析評価することにより適切な薬剤を使用することが可能となる場合が多い。それらの病態の把握方法と薬剤の選択について概説する。
9/11 (月)	精神医学②	野村総一郎	薬剤師の知っておくべき精神医学の知識(精神医学総論、各論として統合失調症、神経症、うつ病など)について講義する。

【後期】

月/日	項目	担当	内容
10/4 (水)	iPS 細胞技術と遺伝子改変 霊長類を用いた再生・疾患 研究と革新的脳科学	岡野 栄之	中枢神経系の再生医学と疾患研究さらには先端的脳科学研究について、iPS 細胞技術と遺伝子改変霊長類を用いた成果と今後の展望について判り易く解説し、双方向的な議論をしたいと思います。
10/11 (水)	消化器疾患の病態、治療 ①	芹澤 宏	消化器領域で日常臨床で遭遇する機会の多い代表的な疾患の病態生理と薬物を中心とした治療につきスライドを用いた講義を行う。上部消化管疾患では逆流性食道炎、胃炎、胃潰瘍およびそれに大きく関連するピロリ菌感染、下部消化管では感染性腸炎、および潰瘍性大腸炎/クローン病といったいわゆる炎症性腸疾患について述べる。
10/12 (木)	腎疾患の現況と将来	河邊 博史	主な腎疾患(糸球体腎炎、IgA 腎症、ネフローゼ症候群など)について概説し、さらに最近提唱された「慢性腎臓病」の定義、有病率、早期発見のための検査、対策法などについて述べてみたい。
10/17 (火)	腫瘍と病理学	長嶋 洋治	腫瘍の定義、細胞学的特徴、がん遺伝子について概説する。加えて病理学的研究を実例をあげて提示する。
10/19 (木)	造血器腫瘍 の治療	岡本 真一 郎	造血器腫瘍に対する新しい薬物療法についてわかりやすく説明する。
10/25 (水)	消化器疾患の病態、治療 ②	芹澤 宏	消化器領域で実質臓器である肝胆道系の疾患について講義を行う。急性ならびに慢性肝炎(特にウイルス性)、肝硬変、急性ならびに慢性膵炎、さらに胆石症や胆道感染症を扱う。
10/27 (金)	外科病理学	稲山 嘉明	臨床医学における外科病理診断学の位置づけ、そのプロセスや意義を実例をまじえながら概説する。
11/1 (水)	薬剤師に必要な臨床検査 の知識	村田 満	臨床検査、特に検体検査の基本とデータ解釈を学ぶ。最近の話題として遺伝子検査をとり上げ解説する。
11/8 (水)	消化器疾患の病態、治療 ③	芹澤 宏	消化器領域の腫瘍性疾患を扱う。悪性疾患を中心に食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、胆のうがんの外科的および内科的治療について概説する。
11/13 (月)	糖尿病	山田 悟	糖尿病の病態と治療
11/17 (金)	膵臓癌の病態と治療開発 ①	光永 修一	膵臓癌の病態と標準治療を解説する。
11/20 (月)	栄養	山田 悟	脂質異常症の病態と治療
11/21 (火)	呼吸器病学①	塩見 哲也	呼吸生理学の基礎と呼吸器疾患の病態生理を解説し、各種呼吸器疾患の治療における薬物療法の重要性を述べる。(肺の感染症及び喫煙に関連する呼吸器疾患を中心に解説する。)
11/24 (金)	膵臓癌の病態と治療開発 ②	光永 修一	膵臓癌の病態と標準治療を考慮した治療開発について実例を用いて提示する。
11/28 (火)	呼吸器病学②	塩見 哲也	呼吸生理学の基礎と呼吸器疾患の病態生理を解説し、各種呼吸器疾患の治療における薬物療法の重要性を述べる。(肺癌を中心に解説する。)
11/29 (水)	白血病の診断と治療	村瀬 忠	白血病についてその診断・分類と病態を述べ、その最近の話題および薬物療法を含めた治療の基本的な考え方、また新規薬剤について論じる。
12/4 (月)	治療薬学	山川 正	肥満の病態と最新の治療戦略
12/8 (金)	治験における SMO、CRC の 役割とその将来	北川 明	医薬品開発において重要な役割を担う治験において、治験の実施現場としての医療機関における、治験の質およびスピードの維持・向上のため、SMO(Site Management Organization)という新しい概念に基づく仕組みの活用が、その問題解決の切り札として期待されている。SMO の現状および問題点を整理するとともに本来あるべき SMO の姿を議論したい。

時間割

(前期)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
5/1	5/2	5/3 祝日	5/4 祝日	5/5 祝日
5/8	5/9	5/10	5/11 臨床薬学特別講義Ⅲ 波田野①	5/12
5/15	5/16	5/17	5/18 臨床薬学特別講義Ⅲ 波田野②	5/19 臨床薬学特別講義Ⅲ 岡野ジェイムス洋前①
5/22	5/23 臨床薬学特別講義Ⅰ 林	5/24 臨床薬学特別講義Ⅱ 野村①	5/25	5/26 臨床薬学特別講義Ⅲ 岡野ジェイムス洋尚②
5/29	5/30 臨床薬学特別講義Ⅳ 信川①	5/31 臨床薬学特別講義Ⅱ 野村②	6/1	6/2
6/5 臨床薬学特別講義Ⅲ 赤石①	6/6 臨床薬学特別講義Ⅳ 信川②	6/7	6/8	6/9
6/12 臨床薬学特別講義Ⅲ 赤石②	6/13	6/14	6/15 臨床薬学特別講義Ⅱ 中村①	6/16 臨床薬学特別講義Ⅱ 天野①
6/19 臨床薬学特別講義Ⅰ 鈴木①	6/20	6/21	6/22	6/23 臨床薬学特別講義Ⅱ 天野②
6/26 臨床薬学特別講義Ⅰ 宮田	6/27 臨床薬学特別講義Ⅰ 和泉①	6/28	6/29 臨床薬学特別講義Ⅱ 中村②	6/30
7/3	7/4 臨床薬学特別講義Ⅰ 和泉②	7/5 臨床薬学特別講義Ⅳ 上原①	7/6	7/7
7/10	7/11	7/12 臨床薬学特別講義Ⅳ 上原②	7/13	7/14
7/17 祝日	7/18	7/19		
9/11 臨床薬学特別講義Ⅰ 鈴木②	9/12	9/13	9/14	9/15
9/18 祝日	9/19	9/20 前・後期間休暇	9/21 前・後期間休暇	9/22

(後期)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/25	9/26	9/27	9/28	9/29
10/2	10/3	10/4 臨床薬学特別講義Ⅰ 岡野栄之	10/5	10/6
10/9 祝日	10/10	10/11 臨床薬学特別講義Ⅱ 芹澤①	10/12 臨床薬学特別講義Ⅳ 河邊	10/13
10/16	10/17 臨床薬学特別講義Ⅳ 長嶋	10/18	10/19 臨床薬学特別講義Ⅲ 岡本	10/20 星薬祭準備
10/23	10/24	10/25 臨床薬学特別講義Ⅱ 芹澤②	10/26	10/27 臨床薬学特別講義Ⅳ 稲山
10/30	10/31	11/1 臨床薬学特別講義Ⅲ 村田	11/2	11/3 祝日
11/6	11/7	11/8 臨床薬学特別講義Ⅱ 芹澤③	11/9	11/10
11/13 臨床薬学特別講義Ⅰ 山田①	11/14	11/15	11/16	11/17 臨床薬学特別講義Ⅲ 光永①
11/20 臨床薬学特別講義Ⅰ 山田②	11/21 臨床薬学特別講義Ⅱ 塩見①	11/22	11/23 祝日	11/24 臨床薬学特別講義Ⅲ 光永②
11/27	11/28 臨床薬学特別講義Ⅱ 塩見②	11/29 臨床薬学特別講義Ⅲ 村瀬	11/30	12/1
12/4 臨床薬学特別講義Ⅲ 山川	12/5	12/6	12/7	12/8 臨床薬学特別講義Ⅳ 北川
12/11	12/12	12/13	12/14	12/15
1/8 祝日	1/9	1/10	1/11	1/12
1/15	1/16	1/17	1/18	1/19